

平成30年度 設備設計1級建築士 総合 対策講座【水曜コース】日程表

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（平成30年） 講習時間 8.0h（法適合確認：4.0h＋設計製図4.0h）

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備	各項目の最後に演習テストで、理解度を確認	電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
5		1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノートをもとに、記述、作図のスピードアップのポイントを学習	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	
6		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
7		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
8		1.0h	設計製図4	電気設備	記述、作図のワーク	単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●設備設計1級建築士 総合 対策講座（平成30年） 講習時間 85.0h（法適合確認31.0h＋設計製図54.0h）

回数	5月開講日程※2	2月開講日程※2	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	5/30(水)	2/21(水)	5.0h	法適合確認1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習	出題範囲、教材の特徴、合格するための学習の進め方を理解する	チェックテスト、演習テストの添削 ＋ 宿題課題の添削
					換気設備等の法規		居室の換気、火気使用室の換気、冷却塔の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					排煙設備の法規		排煙設備の設置基準、防煙区画、排煙機の風量、特殊な排煙設備、ボイラーの煙突の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					給水設備の法規		飲料水貯水タンク(受水槽)の構造等、配管設備の接続状況等、防火区画の貫通状況等の法適合確認のチェックポイントを理解する	
2	6/6(水)	3/14(水)	5.0h	法適合確認2	演習テスト＋演習テスト解説講義	演習テストで出題のポイントを確実に理解する		
					排水設備の法規	各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着	排水設備の構造、排水槽、通気管、排水再利用設備の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					防災設備の法規1	最後に演習テストで、当日の理解度を確認	非常用の照明設備の設置基準、非常用の照明設備の構造、非常用照明器具の配置方法、電源回路の耐熱規制の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					防災設備の法規2	演習テスト＋演習テスト解説講義	演習テストで出題のポイントを確実に理解する	避雷設備、予備電源設備の法適合確認のチェックポイントを理解する
3	6/13(水)	4/4(水)	5.0h	法適合確認3	輸送設備の法規1	オリジナルテキストを用いて、計画条件の読み取りのポイント、計算の仕方、作図手順を学習	輸送設備の基本事項、荷重の算定、構造上主要な支持部分、かごの構造の法適合確認のチェックポイントを理解する	ワークシートの添削 ＋ 宿題課題の添削
					輸送設備の法規2		昇降路の構造、機械室、駆動(制御)装置、安全装置の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーターの法適合確認のチェックポイントを理解する	
					演習テスト＋演習テスト解説講義		演習テストで出題のポイントを確実に理解する	
4	6/20(水)	4/25(水)	7.0h	設計製図1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、計画条件の読み取りのポイント、計算の仕方、作図手順を学習	空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備、それぞれの出題傾向、解答するうえでの注意点を理解する	ワークシートの添削 ＋ 宿題課題の添削
5	6/27(水)	5/16(水)	7.0h	設計製図2	事務所ビルの設備計画	課題の読み取り方を確認し、計画の条件を的確に掴めるようにする。それぞれの設備計画の要点、概算負荷計算の仕方について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
6	7/4(水)	6/6(水)	7.0h	設計製図3	空調・換気設備の計画	空調・換気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、空調配管系統図、事務所のダクト平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
7	7/11(水)	6/27(水)	7.0h	設計製図4	給排水衛生設備の計画	給排水衛生設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、給水・雑用水系統図、便所の配管平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
8	7/18(水)	7/18(水)	10.0h (法適合審査2.0h＋解説2.0h) (設計製図審査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認4 設計製図5	模擬審査1	オリジナル模擬審査を本番と同じ形式で実施 解説講義で採点のポイントを確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬審査の添削 ＋ 宿題課題の添削
9	7/25(水)	7/25(水)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備)	オリジナル答練問題を用いて、項目ごとに問題演習	制限時間を設けて実戦形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削
10	8/1(水)	8/1(水)	4.0h	法適合確認6	答練(給排水衛生設備)	解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
11	8/8(水)	8/8(水)	7.0h	設計製図6	答練(電気設備)	オリジナル答練問題を用いて問題演習	制限時間を設けて実戦形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削
12	8/22(水)	8/22(水)	7.0h	設計製図7	答練(輸送設備)	解説講義で採点のポイント、計算手順、作図手順を理解	制限時間を設けて実戦形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
13	9/19(水)	9/19(水)	10.0h (法適合審査2.0h＋解説2.0h) (設計製図審査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認7 設計製図8	模擬審査2	オリジナル模擬審査を本番と同じ形式で実施 解説講義で採点のポイントを確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬審査の添削 ＋ 宿題課題の添削

※1 空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備の3分野の中から1つ選択します。

※2 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

※3 講座日程等は、各校により、異なる場合がありますので、詳細は受講を希望する当学院各校まで、お問い合わせ下さい。

8月下旬～9月中旬(連続する3日間)
(公財)建築技術教育普及センター講習受講

10月上旬(予定)
設備設計1級建築士講習 修了審査